

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年（2024年）3月 25日

事業所名 草笛学園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	1	・発達課題別活動のグループ数によって部屋を区切って利用するなどの工夫をしている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	8	7	・職員の病気休暇などでクラス職員が少なくなることがあったが、フリー職員をクラスに配置することで、基準を満たすようにしている	・外来教室や訪問支援など兼務しているため、基準配置より多めに職員配置をしています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	5	・適切な大きさの机椅子や、個々のマーク（視覚的てがかり）の用意をしている。 ・子どもたちの動きを全体で確認し危険箇所を把握し対応している。	・バリアフリーになっていない部分があるため必要に応じて簡易的なスロープを設置しています。
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1	・生活空間は、無駄な物はなくすっきりした環境になるように普段から整えている。 ・毎日の掃除、毎月の安全点検を行い、修理は、適宜、行っている。 ・感染防止のため、室内（床・壁等）、子どもが触れるものは毎日消毒をおこなっている。	・引き続き、子どもたちの分かりやすさや活動の導線など、配慮や工夫をしていきます。また、衛生面に配慮し、環境整備に努めていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	15	0	・毎月の職員会議では、行事の目的、内容、その後の反省、改善について共有し、年度末には職員全員で園の在り方について検討している。	・引き続き、毎月の職員会議、年度末の会議を通して、園の在り方、活動内容の検討をしていきます。また、評価表を用いて保護者への意向を確認し、現状の見直しをし、次年度への取り組みに活かしていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	0	・保護者向けの評価表について職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	1	・事業所向け自己評価表についても職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしている。	・自己評価結果を園の HP にて公開しています。 ・多くの視点で、評価いただき、自己評価で振り返ることで、よりより支援になっていければと考えています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	3		・第三者評価制度はありますが、導入はしていません。今後、必要に応じて検討をしていきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	0	・職員のスキルアップのため、年数に応じて研修に参加するようにしている。また、毎月、職員研修日を設けている。	・職員研修日を定期的に確保しています。来年度も引き続き有効に使い、資質の向上を目指していきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々にアセスメントをおこない、保護者の思いや願いも確認し計画に反映させている。 ・生活全般を通して子ども理解を深め、職員間で共有し会議等で検討をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回(前期・後期)アセスメント、モニタリングをおこない、計画を作成しています。 ・今年度はクラス職員での計画検討会議の時間を十分に確保できるようにしました。 ・子どもの状態に応じて計画を見直していくことは、引き続き取り組んでいきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント表を使用し、子どもの実態を把握できるようにしている。 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインを念頭におき、アセスメントした情報をもとに、課題を整理し、「身辺自立」「からだ・運動」「ことば・対人関係」「あそび」「家庭支援」の項目ごとに目標や支援方法について、検討し作成しています。また、支援経過など職員間での共有をおこなっています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議等で複数の視点で、現状の確認をしている。 	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスやグループ会議等で活動内容やねらいを考えて立案している。 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議にて、子どもの実態、発達や障がい、特性に合わせて、楽しめるように工夫している。また、活動の振り返りをし、新たな設定をおこなっている。 ・子どもの状況によっては、同じ活動をじっくりと繰り返すこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動については、クラス会議、年長会議など、職員間で子どもの状態を把握し、活動のねらいや意図を共有したうえでプログラムをたっています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発達課題別や全体集団など多様な集団を保障している。 ・個別活動は、子どもの状況に応じて取り組んでいる。 	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の活動内容や職員配置については、朝礼で確認をしている。 ・全体での取り組みを行なうときには、ねらいや注意事項など、毎日実施するようにしている。(忙しい時や職員体制が少ないときなどは不十分な時がある) 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼では活動内容や職員体制について確認をしています。 ・取り組みのねらいや意義については引き続き、各会議で検討、確認を行ない、充実した支援につなげていきます。 ・会議等に参加できなかった職員に対しては、連絡ノートで共有できるようにしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	5	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や日々の休憩などの合間に、振り返っている。 ・時間が取れない日もあるが、大事なことを伝えあう意識はしている。職員全員が共有すべきことは、その 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、日々の振り返りや全職員で共有すべき点につ

					日の終礼時に報告をしている。	いては、終礼などで報告を行なっています。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> 療育日誌には、日々の活動内容や子どもの様子を記録している。 ケース記録には、課題や支援の経過、子どもの変化などを記録し、支援の検証、改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種の会議を通して、子どもの評価・取り組み・支援の内容を検討し、支援につなげていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に会議を行ない、計画の見直しを行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 前期・後期にモニタリングの会議を行ない、計画の見直しをしています。前期・後期だけでなく、子どもの実態に合わせながら必要に応じて、クラス会議で計画を見直し、適切な支援が行えるようにしています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> 担当が参加している。内容については、記録の回覧、報告等で共有するようにしている。 	
関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか	15	0		<ul style="list-style-type: none"> こども発達支援センターや障がい福祉課などと必要に応じて情報共有や連携をし、適切な支援がおこなえるように努めています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	13	2		<ul style="list-style-type: none"> 個々に必要な医療的ケアの状況把握やできる対応など、具体的な連携を取っていくようにしていきます。また、地域の現状や課題に対しては、情報収集・共有に努めていきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	3		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> 小学校への入学、保育所への入所にあたっては、支援の継続性を考える上で、情報提供が必須です。よりよい環境づくり、支援になるように具体的な連携方法を一律化し実施しています。 入園にあたっては、母子保健・児童発達支援事業所などからの引継ぎを受け、適切な支援につなげています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画や計画に対する評価、今後の課題など、情報提供をしている。 	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> 各センターや事業所での取り組みや事例をもとにオンライン研修に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も連携や学習会に積極的に参加していきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	14		<ul style="list-style-type: none"> 来年度は、近隣の保育所と交流できるように計画をしていきたいと思っています。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域 の子ども・子育て会議等へ積極的に参 加しているか	13	2	・担当者が参加している。	・地域での連携や必要な支援 のあり方について、検討や 協力を引き続き行なってい きます。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っているか	15	0	・子どもの状況については、 懇談やおたより等でお伝え し、共通理解を持てるよう にしている。 ・参観後の研修やクラス懇 談、保護者の勉強会など、実 施し理解を深めていけるよ うにしている。	・保護者支援は子どもを支援 すると同様に大切な事と思 っています。懇談や親子教 室、研修会を通して、保護者 の支援につなげるようにし ています。 ・家族支援プログラムの実施 については、職員の研修、園 としてどのように取り組ん でいくかを検討していきま す。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点か ら、保護者に対して家族支援プログラ ム(ペアレント・トレーニング等)の支 援を行っているか	12	3	・プログラムを意識して行っ てはいないが、懇談やおた よりで、関わり方など一緒 に考えている。	
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	15	0		・運営規定については入園説 明会でお伝えしています。 ・コロナ禍のため保護者会で 伝えられなかったことなど、 動画配信を使ってお伝えす るようにしています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発 達支援の提供すべき支援」のねらい及 び支援内容と、これに基づき作成され た「児童発達支援計画」を示しながら 支援内容の説明を行い、保護者から児 童発達支援計画の同意を得ているか	15	0	・療育のねらいや取り組みに ついては、療育ガイダンスと して保護者に説明を行って いる。 ・支援計画については、家庭訪 問や懇談で説明を行ってい る。保護者の思いや願いも聞 きながら同意を得ている。	・今後も、わかりやすく、丁寧 な説明ができるように努め ていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み 等に対する相談に適切に応じ、必要な 助言と支援を行っているか	15	0	・懇談や親子教室などで子育 ての悩みについて助言、支 援をおこなっている。その 他にも相談があった場合 は、その都度、おたより、電 話などで対応している。 ・相談に即対応できないとき には、他の職員と協議しな がら、伝えている。	・保護者の思いや悩みを聞い たり話したりする機会(懇 談・親子教室など)を定期的 に設けています。 ・引き続き、その時々の様子に よって、時間を設けたり、電 話でのやりとりをしたりす ることで、よりタイムリーに 対応をしていきたいと思ひ ます。 ・保護者が安心してお子さん を預けられるように、努力を していきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同士 の連携を支援しているか	15	0	・場所の提供や、協力をしてい る。	・保護者会は保護者主体の活 動ではありますが、引き続 き、場所の提供や相談にの るなど協力をしていきま す。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れに ついて、対応の体制を整備するととも に、子どもや保護者に周知し、相談や 申入れがあった場合に迅速かつ適切に 対応しているか	14	1	・日程や場所を設定して対応 している。 ・緊急性のあるものは特に職 員間で共有し対応をしてい る。	・気軽に相談できる信頼関係 を築きながら、子育ての不 安や悩みについて話し合 い、迅速に対応ができるよ うに努めていきます。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信しているか	15	0	・行事予定、事務連絡を発行し ている。子どもの活動、活動 のねらい、様子等について は、隔週でおたよりを発行 し、毎週個別へのおたより を発行している。	・事務連絡、行事予定、おた よりについては定期的に発行 するようにしています。 ・保護者の方が読みやすい、わ かりやすい内容になるよう に意識し作成しています。

					<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで園の行事などの様子を伝えています。 	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・メールでのおたより発行の際には、間違いのないよう、数名の職員で確認をしながらおこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の管理の徹底していく ・個人情報の取扱いについては、入園時に説明をおこない同意を得ています。また、写真の扱いについては、毎年、同意の確認をしています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばのみで伝えるのではなく、マカトンサインや手話、視覚的な手がかりを使いながら伝達している。保護者の方に関しては、必要に応じて、ルビを付けたり、メールなどを使用して情報伝達をおこなっている。 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へは、新聞を発行している。また、地域の会合に参加している。 ・子どもの散歩の際には、挨拶するなど、積極的に関わりを持つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は創立50周年記念として、草笛学園の歴史を知っていただくため、歴史展を実施し、地域の方を招待しました。 ・子どもの散歩や課外活動での積極的な近隣の方々のかかわりや、新聞発行による周知などを行なっています。 ・地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していきます。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全を守るための必要な対応については、マニュアルを元に、職員が共有対応できることが必要です。そのための危機管理、地震や防犯に対する訓練も含め、実施していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・火災や土砂崩れを想定し避難訓練を毎月実施している。 ・地震、防犯に対する訓練も必要である。 	
非常時等の対応	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに調査票に記入をしてもらい、対応マニュアルを作成し、職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、保護者に個人調査表を記入してもらい、職員間で共有をしています。 ・食物アレルギーに関しては、医師の指示書のもと、栄養士とも連携をして除去食対応をしています。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に指示書の提出をお願いし、対応している。変更があった場合は、その都度、保護者と確認している。 ・アレルギー対応については、朝礼時、除去食の確認や毎月、エピペン使用の訓練をおこなっている。 	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット案件が発生した場合は、職員間で状況把握、今後の対応について考えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ヒヤリハット事項の共有をし、事故に至らないよう職員全体の意識を高めていきます。また、定期的に危険箇所や危険予測について職員間で確認をしています。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、職員全体で「倫理綱領」「職員の心得」について 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、研修機会を設けるとともに、学習会などでも、

	を確保する等、適切な対応をしているか			て読み合わせをおこなっている。虐待についての研修会では、グループワークの中で、職員それぞれの意見を述べ合う機会をつくった ・定期的に虐待防止委員会を開催し、職員会議で内容を報告し、虐待防止について確認をしている。	取り入れていきます。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	14	1	・身体拘束・行動制限のガイドラインを作成し、全職員で共有している。 ・保護者へは、動画を配信で説明をおこない、支援計画に記載している。質問、疑問点などについては、その都度対応をした。	・身体を押さえる、移動を室内に制限するなど、身体拘束の捉え方や考えられる場面を職員全体で確認、検討していきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。